

【科目名】地域理学療法学		【担当教員】松林 義人							
【授業区分】専門分野（地域理学療法学）		【授業コード】3-18-0700-0-1		(メールアドレス) matsubayashi@nur05.onmicrosoft.com					
【開講時期】3 年次 後期		【選択必修】必修		(オフィスアワー) 水曜日以外の在室時					
【単位数】1 単位		【コマ数】8 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 地域リハビリテーション論と関連づけて学修するようにしてください。 (受講のルールに関わる情報・予備知識)									
【講義概要】 (目的) 本邦における少子高齢化・人口減少に対する地域理学療法のある方を学び、各疾患におけるアプローチ方法、予防理学療法について理解する。また、対象者の医療・介護保険サービスの提案ができるようにグループワークを通じて学習する。 (方法) 教科書と配布資料を使用して講義を行い、またグループワークを実施し、成果発表を行います。									
【一般教育目標(GIO)】 1. 地域理学療法の概念、関連制度・法規について理解する。 2. 疾患に応じた対象者の捉え方を理解し、医療・介護保険サービスが立案できるようにする。 3. 予防理学療法の実践について理解する。 【行動目標(SBO)】 1. 地域理学療法の関連制度・法規を理解し、対象者の医療・介護保険サービスが立案できる。 2. 予防理学療法の位置づけ、実践方法について理解し説明できる。									
【教科書・リザーブドブック】 教科書；重森健太編、PT・OT ビジュアルテキスト地域理学療法学、羊土社、2015 年、¥4,500 (税別)									
【参考書】									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規程の GPA 制度に従う。 成績評価は、期末試験、グループワークを通しての成果発表により総合的に評価する。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		70	0	0	30	0	0	0	100 点
評価指	取り込む力・知識	40	0	0	10	0	0	0	50
	思考・推論・創造の力	30	0	0	15	0	0	0	45
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 26～28 年度入学者用

標	ブ								
	発表力	0	0	0	5	0	0	0	5
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法			学修課題(予習・復習)			時間(分)	
1	地域リハビリテーション・理学療法の概念 地域理学療法に関連制度と関連法規	講義			講義の内容を理解するために復習すること。			30	
2	住環境評価と住環境整備 地域におけるリスクマネジメント	講義			講義の内容を理解するために復習すること。			30	
3	対象者の捉え方 (疾患別) 脳血管疾患 1	講義			講義の内容を理解するために復習すること。			30	
4	対象者の捉え方 (疾患別) 脳血管疾患 2	チーム活動			講義の内容を理解するために復習すること。			30	
5	対象者の捉え方 (疾患別) パーキンソン病	講義			講義の内容を理解するために復習すること。			30	
6	介護保険制度と理学療法 (訪問) 骨関節障害	講義			講義の内容を理解するために復習すること。			30	
7	予防理学療法 サルコペニア	講義			講義の内容を理解するために復習すること。			30	
8	予防理学療法 認知症と転倒予防	講義			講義の内容を理解するために復習すること。			30	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。